

兵庫県のり漁場環境情報 (東播海域 20号)

平成31年 4月 5日発行
兵庫のり研究所

今回調査は上げ潮時ということもあり、大阪湾から流入する海水の影響が二見東部周辺まで見られました。窒素は、陸水等の影響を受けていた調査地点を除き、この海域全般に1~2 $\mu\text{g-at/L}$ 台の値でした。キートセロスやスケルトネマ等数種の珪藻が確認されますが、発生量は少ない状況が続いています。

(水温) 漁場内平均11.9℃。平年、昨年比ともに概ね0.5℃高い。(塩分) 平均32.08psu。前回(31.93)より0.15psu高い。

(栄養塩、珪藻) 大阪湾では湾奥を中心にスケルトネマやニッチア等複数種の小型珪藻が大量発生している。今回調査では大蔵海岸前でこれら珪藻が多く(海水1mlあたり800細胞前後)見られ、明石海峡部周辺の窒素は1~2 $\mu\text{g-at/L}$ 台と低い値であった。一方、別府や高砂周辺ではキートセロス等数種が確認されるが発生量は比較的少なく、海域全般に珪藻は少ない状況にある。降雨による栄養塩供給が少ないことや、明石海峡部の窒素が減少したことにより、前々回(3/22の大潮時)調査と比較し栄養塩は更に減少傾向を示している。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	11.5	11.9	11.3	11.4
窒素	3.5	3.4 ※	3.0	3.6
リン	0.32	0.26	0.25	0.24

(3/29)

(4/9)

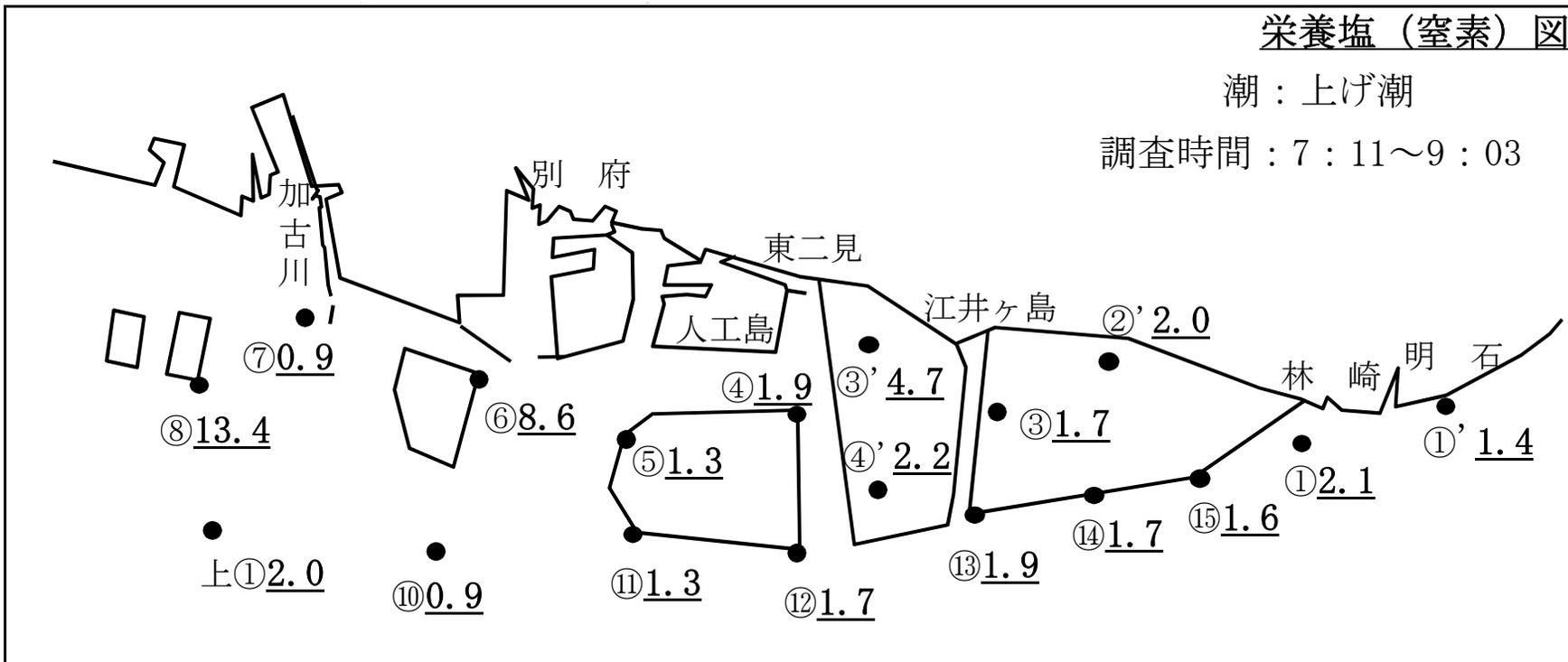
※別府・高砂漁場の値により
漁場平均値はやや高くなっています。

平成31年 4月 5日調査

栄養塩(窒素) 図

潮：上げ潮

調査時間：7:11~9:03



水温図

